



過去事例を引用した警戒の呼びかけ

平成23年（2011年）9月19日～21日
台風第15号による大雨

台風接近に伴う前線による大雨

岐阜地方気象台



台風が離れた位置にあっても、前線活動が活発化し、記録的な大雨になる場合は、土砂災害や浸水害が局地的・同時多発的に発生する可能性が高くなります。

事例の特徴 台風による前線活動の活発化で浸水害や土砂災害が多数発生
台風が離れた位置にあっても前線活動の活発化による大雨で、多治見市や可児市、下呂市などの中濃・東濃・飛騨南部を中心として、土砂災害や浸水害が多数発生し死者も出た。

事例の概要

前線が東海地方に停滞し、台風第15号が九州の南海上を北へ進んでいた。

岐阜県では、台風が中心が最接近する前日の20日に、台風の接近に伴い南から湿った空気が停滞した前線に流れ込んだため前線活動が活発化して大雨となった。

20日の日降水量は、多治見で383.5ミリ、八百津町伽藍で315.5ミリを観測し、観測史上第1位を更新する記録的な大雨となった。

主に、土砂災害が御嵩町で46か所、恵那市で10か所、瑞浪市で9か所、床下浸水が多治見市で181棟、可児市で54棟、土岐市で34棟あった。



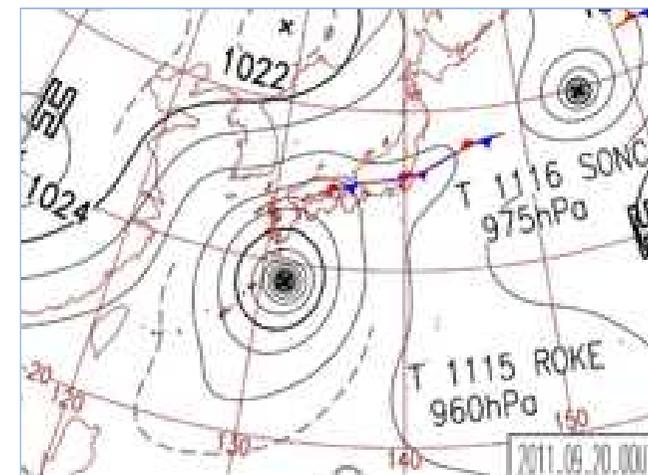
御嵩町の道路損壊
岐阜地方気象台職員撮影

死者・行方不明者	3 人	
負傷者	5 人	
山崖崩れ・地滑り	76 か所	
道路損壊	1 か所	
住家	全壊・全焼・流失	1 棟
	半壊・半焼・一部破損	11 棟
	床上浸水	214 棟
	床下浸水	470 棟
交通(陸上)	運休	224 本
	遅延	80 本
停電	2010 戸	

被害一覧



台風経路図
(平成23年9月20日～21日)

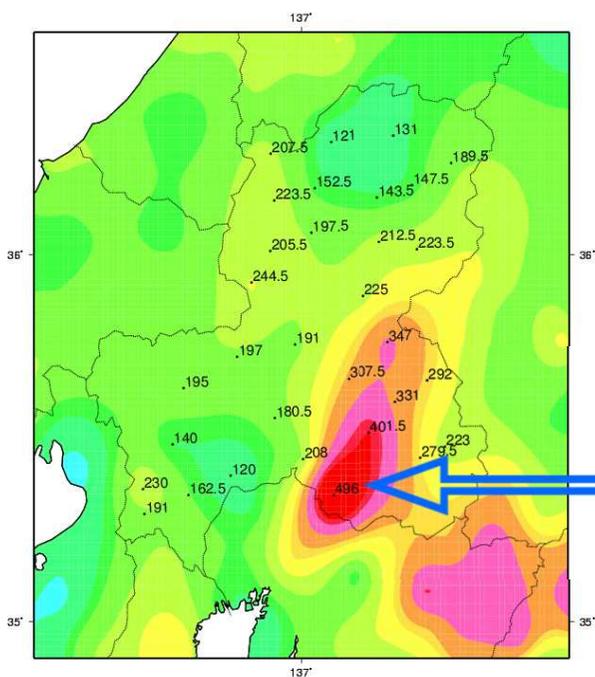


大雨となった日の地上天気図
(平成23年9月20日09時)

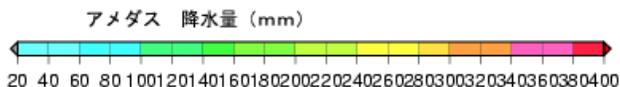


【雨の状況】

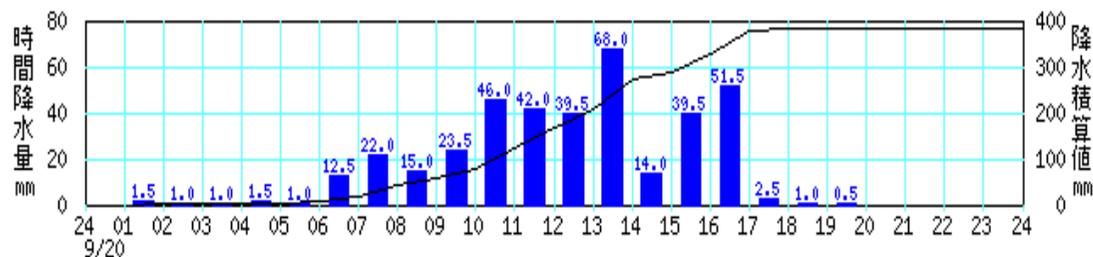
3日間の期間降水量は多いところで約500ミリに上った。美濃地方東濃では広い範囲で期間降水量が300ミリを超える大雨となった。アメダス多治見では20日の日降水量が383.5ミリとなり、日降水量の極値を更新した。



アメダス総降水量分布図
(9月19日00時～21日24時)



多治見 2011年9月19日24時～2011年9月20日24時



アメダス多治見の1時間及び積算降水量時系列図

多治見

日降水量 (20日) **383.5 ミリ (極値を更新)**

最大1時間降水量 **76.0 ミリ (20日 16時35分まで)**

